

## 評価シート 様式

取組名	浅間山麓地域と東京駅周辺地域のコラボレーションによる元気アップ事業		
実施団体名	浅間山麓地域と東京駅周辺地域のコラボレーションによる元気アップ事業実行委員会	対象地域	長野県小諸市、東京都千代田区
(代表団体名)	財団法人 都市防災研究所	推薦団体名	長野県小諸市、東京都千代田区
① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか		平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。 (備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について		平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。		<input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。 (備考・特記事項)		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。 (備考・特記事項)
		② 実施 体制	④ 継続 展開 の見 込み

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	浅間山麓地域と東京駅周辺地域のコラボレーションによる元気アップ事業		
実施団体名	浅間山麓地域と東京駅周辺地域のコラボレーションによる元気アップ事業実行委員会	対象地域	長野県小諸市、東京都千代田区
(代表団体名)	財団法人 都市防災研究所	推薦団体名	長野県小諸市、東京都千代田区

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	<p>本取組は、災害時における浅間山麓地域と東京駅周辺地域の相互連携を機軸とつ、浅間山麓地域の農産物を利用した経済的な提携や、同地域の森林を活用した環境交流活動など、地域活性化に寄与する事業を行うものであり、地方の元気再生事業による支援を継続することにより、本格展開に向けた継続的な取組が期待できる。</p> <p>次年度以降については、事業の本格展開に向け、多種多様な取組の中から、災害時の両地域の相互連携など必要性・緊急性の高いものを選択して重点化することに留意しつつ、以下の視点を踏まえて取組を行うべきである。</p> <p>具体的には、取組①「省CO2対策」及び取組②「観光対策等」については、平成21年度に本格展開し、かつ、平成22年度以降も継続する可能性の高い取組に対象を絞って実施すべきである。取組③「安全・安心対策」については、各地のライブカメラ映像は、多くの各自治体において既に提供されており、地方の元気再生事業の支援によらず取り組むべきである。取組④「他への普及等」については、今後の事業の継続性に留意しつつ、対象地域を広げ過ぎないように内容を見直すべきである。</p>